

むくのきだより



11月号

平成28年11月1日

港区立赤羽幼稚園長 小鹿原 賢

実りの秋

園長 小鹿原 賢

今年の幼稚園の行事は、天気に恵まれています。

10月20日(木)は、芋掘り遠足に新座市の尾崎ファームへ出かけました。朝から素晴らしい秋晴れで、日中の日差しは大変強く、子どもたちは真っ赤な顔をして一生懸命の芋掘りができました。

赤羽幼稚園の子どもは裸足になり、土の感触を感じながら畑に立ちますが、裸足で土の上に立つのが初めてであったり慣れないでいたりする子どもたちは、恐る恐る土の上に立ちます。大人でも裸足で(先生方は裸足です。)立つのは、なかなか勇気がいるものですが、何事も経験です。こんな時でないと裸足の経験はできません。かわいらしい足もとをみると、何やらもぞもぞと虫がいます。「キヤーキヤー、ワイワイ。」大騒ぎです。肝心の芋掘りはどこへやら、ということもありました。

土と触れ合い、自分の手で芋掘りと、自然体験・農業体験を味わいました。尾崎ファームのご主人に言われました。「裸足になるのは、赤羽幼稚園だけです。大変だけど、いいことですよ。」畑に裸足、いつまでも続けていきたい体験です。

10月25日(火)は、収穫した芋で「焼き芋会」です。子どもたちが、畑で拾ってきた枝の火の点きがよく、おいしい焼き芋ができました。火を見ながら「♪垣根の垣根の曲がり角。たき火だ、たき火だ、落ち葉炊き…♪」と昔を思い出しながら歌いました。近くにいた子どもに「この歌知っている?」と聞いたところ、副園長先生が「園長先生、今、垣根ってないですよ。」と話され、「そうか。知らないか…」と、自分の幼い頃のことを思い出していました。ところで、芋の焼き方ですが、私の子どもの頃は、そのまま火に芋を放り込みましたが、今は、まず芋を濡れた紙で包み、その上をアルミ箔で包みます。この方が、蒸らしがよく、皮が焦げなくてすみます。子どもたちは、出来上がった焼き芋を「おいしい」と言って食べていました。

11月に入り秋が深まります。季節を味わいながら保育や行事の充実に努めてまいります。

焼き芋会



絵画「ザ・ダイコン」(年長)



製作「ザ・サツマイモ」(年少)